

報道関係各位

2018年11月9日

瀬戸内 Kirei 未来創り合同会社

代表社員 くにうみアセットマネジメント株式会社

現在稼働している太陽光発電所のうち“日本最大”の
メガソーラーが瀬戸内市に誕生！
「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」完成

<http://www.setouchimegasolar.com/>

2018年10月より操業開始

瀬戸内 Kirei 未来創り合同会社(代表社員:くにうみアセットマネジメント株式会社)は、岡山県瀬戸内市錦海塩田跡地(岡山県瀬戸内市邑久尻海 4382-3 他)にて、現在稼働している中で国内最大のメガソーラー「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」を開所し、2018年10月より操業を開始いたしました。



「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」5月31日撮影

今回完成した「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」は、錦海塩田跡地約 500ha のうち約 260ha(パネル設置面積は約 230ha)に建設。東京ドーム約 56 個分の広さを誇り、現在稼働している太陽光発電所としては国内最大で、多結晶シリコン型のソーラーパネルが約 90 万枚使用されています。

瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設プロジェクトは、「発電事業」「安全安心事業」「環境保全事業」の3つの事業で構成。「発電事業」では、最大約 235 メガワットの電力供給が可能で、一年間で一般家庭約 8 万世帯の消費電力に相当する電力を供給できます。さらに、本発電所を運転させることにより、瀬戸内市内の CO₂総排出量の約半分、年間約 192,000t の CO₂を削減することができます。「安全安心事業」では、錦海塩田跡地内を東西に走る中央排水路の整備や排水ポンプの増設、非常用発電機の設置が行われ、さらに塩田跡地と海を隔てる長さ約 1.6km の錦海湾堤防の補強や防潮堤の設置が行われました。「環境保全事業」として、塩性湿地の保全を目的とした希少野生動植物の自然保護エリア「錦海ハビタット」の整備が行われました。

今後、このプロジェクトの開発者であるくにうみアセットマネジメント株式会社は、瀬戸内市を「アートと文化と歴史のまち」へと発展させる「まちづくり」を、市をサポートする形で進めていきます。地方創生のモデルとなる「瀬戸内市モデル」を実現し、そのモデルを全国の各地域でも横展開。日本を地域から元気にしていく「まちづくり」事業を推進していきます。

【プロジェクトに関するお問い合わせ先】

くにうみアセットマネジメント株式会社 担当: 杉村・福田・齋藤

TEL: 03-6212-8840(月～金 ※祝日を除く 9:00～17:00) / Email: inquiry@ml.kuniumi-am.co.jp

【本件に関するお問い合わせ先】

「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」PR事務局 担当: 荒川・伊藤・浜永(月～金 9:30～18:00)

TEL: 03-4531-0210 / FAX: 03-3265-5135

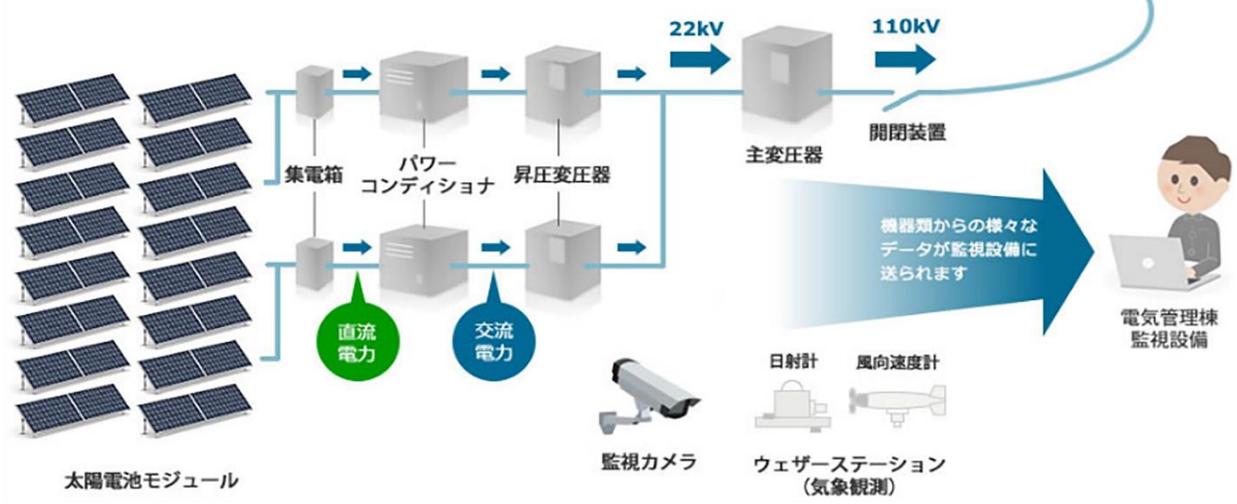
瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設プロジェクトを支える3つの事業

I 発電所事業

 <p>電力供給量 約 235 メガワット</p> <p>本発電所の最大発電能力は約235メガワット。太陽光発電所の発電量は、太陽の方向・高さ、雲の状況、気温などの自然条件によって刻々と変化しますが、本発電所では、年間を通じて一般家庭約8万世帯の消費電力に相当する電力を供給します。</p>	 <p>発電所敷地面積 約 260 ha (パネル設置面積 約230ha)</p> <p>鏡海塩田跡地約500ヘクタールのうち約260ヘクタールに太陽光発電所をつくります。東京ドームが約56個もはいる広さです。</p>
 <p>CO₂削減 約 192,000 t</p> <p>太陽光発電所の運転により、瀬戸内市のCO₂総排出量の約半分、年間約192,000tを削減する効果があると見込んでいます。</p>	 <p>ソーラーパネル 約 90 万枚</p> <p>本発電所のソーラーパネルは、最も古くから使われ、構造や性能が日々進歩している「多結晶シリコン型」のパネルです。</p>

発電所の仕組み

太陽電池モジュール	太陽光を電気に変換する装置です。セルと呼ばれる電池を組み合わせて一枚の板状にしたもので、太陽光発電パネルとも呼ばれています
集電箱	太陽電池からの直流電力を統合して、パワーコンディショナーに供給する配電設備です
パワーコンディショナー (PCS)	太陽電池モジュールで発電した直流電力を、交流電力に変換する機器です
変圧器 [昇圧変圧器 主変圧器]	パワーコンディショナーからの出力電圧を電力会社の電圧まで上げる機器です
気象計測器	日射量等の気象状況を計測するための機器です
監視カメラ	太陽光発電所での自然災害、盗難や不審者の侵入などの問題発生に備えた防犯セキュリティです



II 安心安全事業 ～地域を災害から守るため安全安心事業～

中央排水路整備 	排水ポンプ増設・非常用発電機設置 	防潮堤設置・堤防補強 
 <p data-bbox="475 353 564 405">2015年4月 工事終了</p> <p data-bbox="169 589 560 835">塩田跡地内を東西に走る約2.5kmの中央排水路の上流部分は幅が狭い上に河床に土砂も堆積し、台風等の大雨により塩田跡地や中央排水路上流域の農地・住宅に浸水被害が発生する恐れがあったため、本プロジェクトのEPC企業である東洋エンジニアリングの施工により、浸水リスク軽減の目的で、上流部分400mの河床掘削拡幅工事を行い、所有者の瀬戸内市に引渡しを行いました。</p>	 <p data-bbox="914 353 1003 405">2016年3月 工事完了</p> <p data-bbox="603 589 991 965">堤防の下は海水が流入する構造になっていて、塩田跡地に海水が流れ込み、跡地南側で塩性湿地が形成されています。跡地の海寄り北側には市が保有・管理するポンプ室があり、これまで3台の排水ポンプが稼働して塩田跡地内の水が集まる中央排水路から排水し、水位を調節していましたが、排水能力向上と既設ポンプの故障時のバックアップのため、東洋エンジニアリングの施工で排水ポンプを1台増設するとともに、老朽化したポンプ室建屋を補強しました。さらに、停電時の備えとして、非常用電源も新たに設置して市に寄附しました。</p>	 <p data-bbox="1348 353 1437 405">2017年3月 工事完了</p> <p data-bbox="1037 589 1425 1032">塩田跡地と海を隔てる長さ約1.6kmの錦海海堤防は大地震が起こると土手部分が液状化によって沈下する可能性があるため、堤防の地下深くの固い岩盤層まで届く長い鋼管杭を打ち込むことで錦海海堤防を補強します。大地震で土手部分が沈下しても鋼管杭は沈下せずに残り、太陽光発電所だけでなく近隣にお住まいの皆様のご住居や財物を津波や高潮から守ることができます。堤防の安全性を追求しながらも、海水が流入する構造を維持することで、希少な動植物の生息する塩性湿地環境も保全することができる工法です。堤防南北端の玉津港、錦楽港には防潮堤を設置し、災害時の海水の侵入を防ぎます。清水建設が施工しました。</p>

III 環境保全事業

～塩生湿地を保全し、希少野生動植物の自然保護エリア「ハビタット」を整備 2016年1月完成～

「錦海ハビタット」では、希少な猛禽類の保護を目的に、ヨシ原の水辺環境を残しながら既存の樹林やクレークを活用した猛禽類の食餌環境の向上を図っています。水深に変化をつけて複雑に入り組ませたクレークや、自生植物を利用した植栽、小動物の生息しやすい環境の創出が、猛禽類の餌となる鳥やネズミの増加につながる事が期待されています。



瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設プロジェクトについて



<事業概要・事業関係者>

事業主体	瀬戸内 Kirei 未来創り合同会社(代表社員:くにうみアセットマネジメント株式会社) http://www.setouchimegasolar.com/
事業地	錦海塩田跡地(瀬戸内市所有) 岡山県瀬戸内市邑久町尻海 4382-3 他
発電出力	約 235W(直流)
出資	EFS ジャパン B.V(GE エナジー・フィナンシャル・サービス子会社) 東洋エンジニアリング株式会社 株式会社中電工 くにうみアセットマネジメント株式会社
建設開始	2014 年 10 月
操業開始	2018 年 10 月
施工	発電所:東洋エンジニアリング株式会社 堤防補強:清水建設株式会社
電力販売先	中国電力株式会社
O & M	株式会社中電工
開発・資産管理	くにうみアセットマネジメント株式会社
総事業費	約 1,100 億円

【プロジェクトに関するお問い合わせ先】

くにうみアセットマネジメント株式会社 担当:杉村・福田・齋藤
TEL:03-6212-8840(月~金 ※祝日を除く 9:00~17:00) / Email:inquiry@ml.kuniumi-am.co.jp

【本件に関するお問い合わせ先】

「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」PR事務局 担当:荒川・伊藤・浜永(月~金 9:30~18:00)
TEL:03-4531-0210 / FAX:03-3265-5135